中日びるNEWS 最終号

「中日びるＮＥＷＳ」は、本号をもって最終号とさせていただきます。

平成９年１２月の創刊号では、発刊の目的を「中日ビルとそのテナント様に関する各種情報を通じてコミュニケーションを深め、日頃のお仕事や業務に役立てていただきたい」また、「皆様のご家族や親しい方々のくらしやゆとりある生活に活用していただければ」としています。

以来２１年間にわたり、中日ビルタウンのイベント告知や、全国観光物産センターの各県による観光キャンペーンの紹介のほか、「お店訪問」や「新店舗紹介」などの企画記事を通じて、ご入居者の皆様のＰＲの場となるよう、月１回のペースで発行し、今月号で２５５号を数えます。

この間には、掲載するネタに困り編集に苦労した場面も何度かありましたが、ここまで続けられることができましたのは、ひとえにご入居の皆様のご協力があったからこそです。あらためて厚く御礼申し上げます。

５３年間ご愛顧いただきました中日ビルは、３月末に閉館、その後建て替えに入り、２０２４年度には高さ１７０ｍほどの高層ビルとして生まれ変わる予定です。現ビルがそうであったように、新ビルもまた栄のランドマークとしてみなさまに親しんでいただけるビルになるよう検討を進めてまいります。

最終号にあたって、「また新しい中日ビルで会いましょう」という言葉でお別れしたいと思います。永年にわたりご愛読いただきありがとうございました。

全国センターグランドオープン！

中日ビルに入居していた16道県事務所「全国物産観光センター（全国センター）」が久屋中日ビルに移転し、1月7日にグランドオープンしました。

オープン日の7日には各地のゆるキャラや「なまはげ」も来館し、ビル前で観光パンフレットを配布するなど、各県のPRを行いました。

全国センターの入居により、久屋中日ビルは現中日ビルの4階にあった中日文化センター、医療コーナー、全国センターがそのまま入居した形となりました。新しい交流の拠点としてぜひご利用ください。

リニューアル記念キャンペーン

静岡県名古屋観光案内所は、久屋中日ビル4階へ移転した「リニューアルオープン記念」として、お買い上げいただいた限定200名の方を対象に、ウィスキーのミニボトル、煎茶、三ヶ日みかんジュース、焼き海苔、茶飴、観音温泉水、かつお節など、静岡の特産品が当たる抽選会を開催しています。抽選はお買い上げ1，000円ごとに1回です。

また、1月18日までは、毎日先着50名の方に、静岡茶の美味しさを味わえる試飲サービスも行っています。この機会にぜひ、新装なった静岡県名古屋観光案内所にお越し下さい。

詳しくは、静岡県名古屋観光案内所（久屋中日ビル4F）☎052-262-7471までお問い合わせください。

中日ビル感謝のつどい

昨年12月17日、中日パレスで「中日ビル感謝のつどい」を行いました。

会場となった中日パレスヴィスタホールには、2年前の建て替え公表時に入居されていた企業や店舗の方と、竣工以来ビルの保守や警備、清掃などにご尽力いただいた協力業者の方々など、201名が参加されました。

最初に金森中日ビル社長がご参加のみなさまに感謝の意をお伝えした後、中日ビルの設計・施工を担った竹中工務店の風岡常務の音頭で乾杯、その後の懇親会では、参加者の方々が中日ビルの思い出話に花を咲かせていました。

なお、中日パレスは、12月26日の催しを最後に営業を終了しました。中日ビル竣工以来、53年という長きにわたり、結婚式場や宴会場として、またビアガーデンでも多くの方にご愛顧いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

当日の様子

なつかし写真展『総集編』

昨年4月から1階の特設会場で開催してきました「なつかし写真展」は、「昭和1」「昭和2」「平成」と3ヵ月ごとに展示内容を変えてきましたが、閉館までの最後の3ヵ月は今までの「総集編」です。過去の展示をお見逃しの方はぜひご覧ください。

また、限定販売のDVDやクリアファイル、「渋ビル手帖」の在庫が少なくなってきました。お早めにお買いお求め下さい。

国連難民支援キャンペーン

国連UNHCR協会による『国連難民支援キャンペーン』が、1月17日～24日の10時～18時まで、中日ビル1階正面玄関で行われます。

紛争や迫害により難民や避難民になることを余儀なくされた人々を支援する難民救助活動です。サポーター制度の広報と申込受付を行います。

Thanks!

発行責任者：中日ビル　水谷 藤晴
TEL 052(263)7253
Ｎｏ．２５５　平成３１年１月１７日発行